

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	スタジオみらい逗子		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 20日		～ 2026年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30人	(回答者数) 11人
○従業者評価実施期間	2026年 1月 20日		～ 2026年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	16人	(回答者数) 6人
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 11日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ICTを用いた情報共有の展開	公式LINEや電子連絡帳を活用し、支援の記録や振り返りをスタッフ全員がタイムリーに確認できる体制を整えています。	ICTに関する意見・工夫をスタッフで共有し、委員会にて対応を協議します。
2	専門機関との連携による安全確保	防災士や消防士、防災団体を招いた防災研修を定期的を実施し、安全管理の質の向上に努めています。	防災だけでなく、感染症や防犯等についても保健所や警察などの公的・専門的機関に協力していただき、研修の機会を作っていきます。
3	行事やイベントへの参加など、地域の交流との機会を設け、子どもたちが社会経験を積める場を確保しています。	買い物、公共施設の利用、季節行事等に参加する機会をつくることで、地域の方々に知っていただくきっかけにもなるため、積極的に取り入れています。	地域で開催される行事に参加するだけでなく、スタジオみらい発信のイベントを企画し、地域の方々との交流を作っていると良いのではないかと考えています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	環境の構造化と備品不足	クールダウン用のスペースや個別の場所の確保が不十分であり、テントやカーテン等の設置が急務です。	ポップアップテント、ソファ、カーテン等、情緒を安定させられる個別の居場所を整備します。 場所の設定に加え、支援者だけでなく、利用児に対しても、その場所がなぜ必要なのか、必要とする児童がいる時は移動の協力をしてもらいたい、等の周知を行います。
2	対面での共有時間の不足	送迎対応等の関係で朝礼が十分に実施できない場合があり、口頭での細かなニュアンスの共有に課題があります。	朝礼を行う時間帯をずらし、出勤時間と送迎時間が近いスタッフには個別に伝えていく形を試していきます。また、長期休暇等で再度やり方を変える必要がある時期についても、早めに準備を行います。
3	標準的な入社時研修やフォローアップ研修が不足しています。	入社時の研修について、事業所としての資料が不足しています。各事業所の職員の資質による研修となっています。	各事業所の職員の資質ではなく、会社全体で共通の基礎研修資料を運用していけるよう、提案していきます。 外部研修については、研修一覧を確認できるように整備し、希望者が申請をしやすいようシフト調整を行います。